

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月22日

香川県知事 殿



提出者

住 所 愛媛県四国中央市川之江町4087-6

氏 名 伊勢丸食品株式会社

代表取締役 後藤 和彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (事務センター) 0875-72-3105

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他

その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	伊勢丸食品株式会社 詫間工場
事業場の所在地	香川県三豊市三野町下高瀬1170-3
計画期間	2023年4月1日 ~ 2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	(1297) 冷凍調理食品製造
② 事業の規模	25,5億円(2022年実績)
③ 従業員数	100名(2023年4月1日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の搬出の抑制に関する事項

①現状

【前年度(2022年度)実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック類	可燃物	液状動植物性	古紙	廃油	金属くず	木くず	不燃物	水銀使用廃棄物	有機性汚泥
排出量	884	57	17	135	108	30	0	0.75	2.5	0.12	3458

(これまでに実施した取組)

廃棄物の分別・回収方法の見直し

成型工程での生産方法見直し、成形機等のメンテナンスにより廃棄品の削減に取り組み

・動植物性残渣:製造ラインのトラブル削減による廃棄量削減と歩留まり向上

:製造ラインの改善により廃棄量削減に取り組み

・廃プラスチック類:原料の包装形態の見直し

・可燃物:廃棄品の分別の徹底

木くずを仕分けし、運搬・処理業者の負担軽減

・液状廃棄物:動植物性残渣処理業者の処理能力に応じた廃棄への対応

・古紙:リサイクル可能な処理への見直し

・廃油:ろ過装置導入で、廃棄量の削減

・金属くず:リユース・リサイクルの推進

廃棄品の分別回収に取り組み

(22年度は、分別した物が一車に満たないため未回収)

・不燃物:リユース・リサイクル可能への分別徹底

・有機性汚泥:脱水機運転管理の見直し

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック類	可燃物	液状動植物性	古紙	廃油	金属くず	木くず	不燃物	水銀使用廃棄物	有機性汚泥
排出量	840	55	16	128	102	28	5	1	2.5	0.1	4000

(今後実施する予定の取組)

原材料の適正量の購入、在庫・賞味期限の管理を徹底し不適切な廃棄を無くす活動の継続。

生産工程での生産方法の見直し廃棄物の削減に取り組み。

設備の整備・更新を行い、廃棄物の削減に取り組み

廃棄物の処理の見直し、リユース・リサイクルの推進の取り組みの継続。

SDGsの活動の取り組み、教育の実施

回収・処理業者の負担軽減を考慮した分別の継続。

・動植物性残渣:製造ラインのトラブル削減による廃棄量削減と歩留まり向上の継続

:製造ラインの改善により廃棄量削減に取り組み

・廃プラスチック類:原料の包装形態の見直しと歩留まり向上の継続

・可燃物:原料の包装形態の見直し及びリユース・リサイクル可能への分別の継続

・液状廃棄物:自ら中間処理をして、減量する値を増やす対策を考え、廃棄量の削減に取り組み

・古紙:リサイクル可能品の管理を徹底する

・廃油:劣化度(酸化度)の数値管理を行い、再生使用を行える生産日を計画し、削減に努める

・金属くず:リユース・リサイクルの推進

・不燃物:原料の包装形態の見直し及びリユース・リサイクル可能への分別の継続

・有機性汚泥:排水作業の改善(薬品の選択・処理時間等)し回収量の改善を図る

産業廃棄物の分類に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

①現状	分類を実施している産業廃棄物 動植物性残渣、廃プラスチック、可燃物、液状廃棄物、古紙、廃油、金属くず、不燃物、水銀使用廃棄物、有機性汚泥、がれき類
②計画	分類に対する取組 廃棄物を分別仕分けに一時保管し、中間処理、再生処理可能な状態を維持する 廃棄物の処理の見直し、リユース・リサイクルの向上 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分類をする予定の産業廃棄物の種類 現状通り 分類に関する取組 生産方法の改善により廃棄物の削減に取り組み 分別廃棄をする意味の再教育

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(2021年度)実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック類	可燃物	古紙	廃油	金属くず	不燃物	水銀使用廃棄物	有機性汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量									

(これまでに実施した取組)

①現状

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック類	可燃物	古紙	廃油	金属くず	不燃物	水銀使用廃棄物	有機性汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量									

(今後実施する予定の取組)

②計画

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(2022年度)実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック類	可燃物	古紙	廃油	金属くず	不燃物	水銀使用廃棄物	有機性汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量									
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量									3002

(これまでに実施した取組)

①現状
脱水機の運転管理
・処理水のPh管理

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック類	可燃物	古紙	廃油	金属くず	不燃物	水銀使用廃棄物	有機性汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量									
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量									3800

(今後実施する予定の取組)

②計画
脱水機の脱水率の向上
・運転管理の改善
(各ラインの稼働状況に応じた管理での運用を心掛ける)
・脱水機の整備を行い脱水率の向上

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入に関する事項

【前年度(2021年度)実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック類	可燃物	液状動植物性	古紙	廃油	金属くず	木くず	不燃物	水銀使用廃棄物	有機性汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量											

(これまでに実施した取組)

①現状

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック類	可燃物	液状動植物性	古紙	廃油	金属くず	木くず	不燃物	水銀使用廃棄物	有機性汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量											

(今後実施する予定の取組)

②計画

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(2021年度)実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック類	可燃物	液状動植物性	古紙	廃油	金属くず	木くず	不燃物	水銀使用廃棄物	有機性汚泥
全処理委託量	884	57	17	135	108	30	0	0.75	2.5	0.12	456
優良認定処理への処理委託量	15		17					0.75		0.12	
再生利用者への処理委託量	868	57		135	108	30	0		2.5		456
認定熱回収業者への処理委託量											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量											

(これまでに実施した取組)

①現状 フライの油をろ過装置の導入により、廃油の削減を行った。

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック類	可燃物	液状動植物性	古紙	廃油	金属くず	木くず	不燃物	水銀使用廃棄物	有機性汚泥
排出量	868	56	16	132	106	29	5	1	2.5	0.1	448
全処理委託量											
優良認定処理への処理委託量			16					1	2.5	0.1	
再生利用者への処理委託量	868	56		132	106	29	5				448
認定熱回収業者への処理委託量											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量											

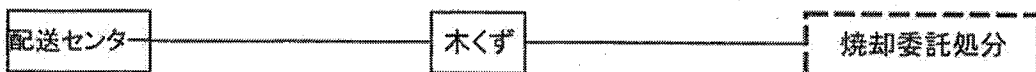
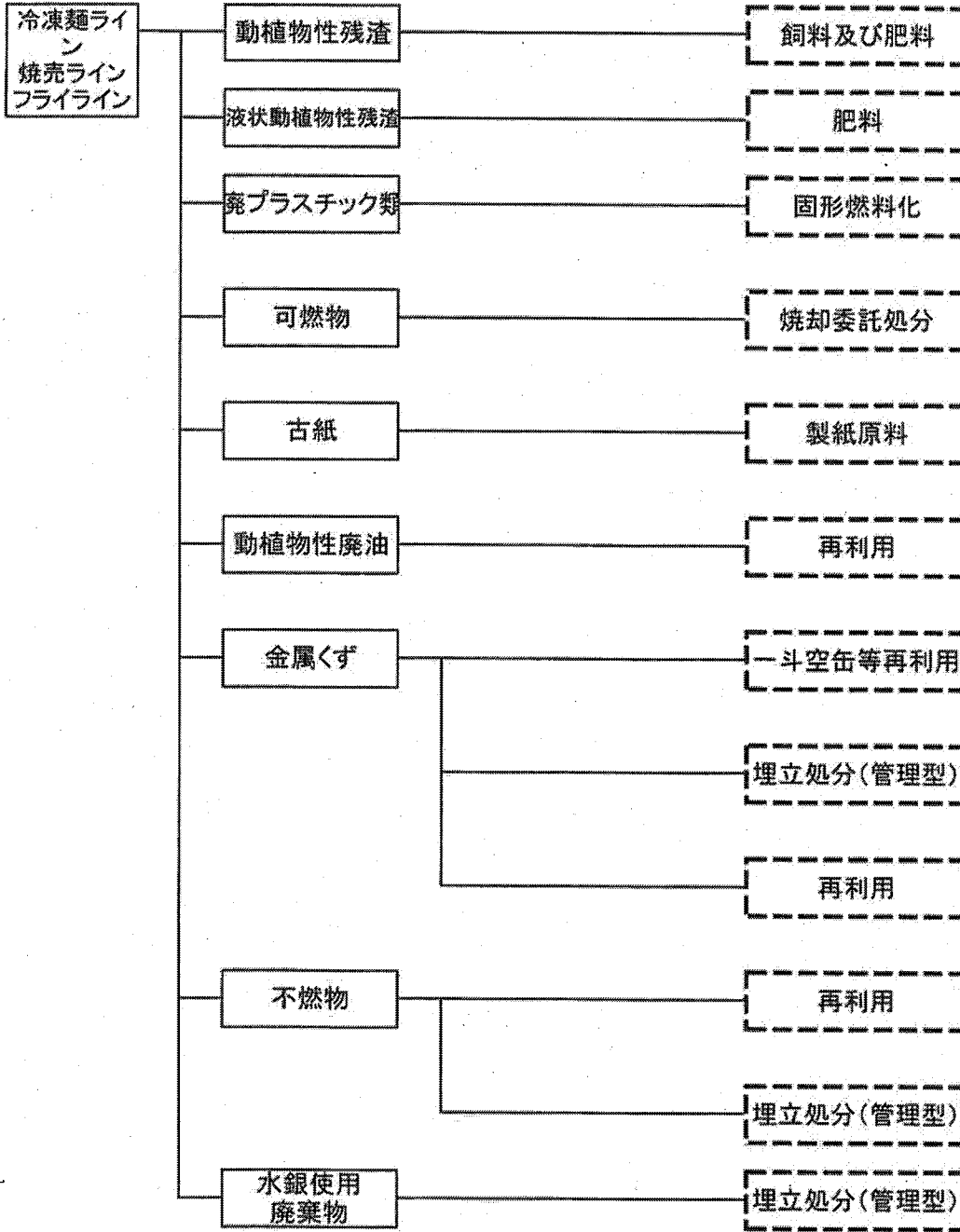
(今後実施する予定の取組)

②計画 生産工程の改善を行い廃棄物の削減に努め、動植物性残渣等の処理委託量の削減
機器の整備・更新を行い、トラブルによる廃棄物の削減を図る
SDGsの取り組みの共有化

産業廃棄物の一連の処理工程



— 廃棄物の流れ - - - 委託処理部分の範囲



産業廃棄物の処理に係る管理体制

産業廃棄物管理責任者及び管理組織図

	産業廃棄物管理統括責任者	託問工場長
	産業廃棄物管理担当者	技術部 担当者 5名
役割	工場環境保全委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適性処理の推進、計画を行う ○ 廃棄物の管理、運営を行う上で必要な事項の検討 委員長：環境管理責任者 委員：関連部署部長、課長、各部署担当者等
	産業廃棄物管理統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○ FSSC22000に関する検討 ○ 廃棄物処理計画の策定 ○ 工場廃棄物管理規定の策定、改廃 ○ 廃棄物処理に関する各事項の決定、承認
	産業廃棄物管理担当者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 産業廃棄物処理施設の運転及び維持管理 ○ 産業廃棄物処理業者、再生利用者の調査、選定、管理 ○ 産業廃棄物処理委託契約の締結 ○ 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付、管理 ○ 特別管理産業廃棄物管理責任者、管理技術者の任命、監督 ○ 監督官庁への各種報告 ○ その他関連する事項

産業廃棄物管理組織

